

平成27年 4月20日

プロジェクト報告書

団体名 文化・芸術いきいきネットワーク

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

高齢化社会を元気にする「福祉施設アクティビティ実践の定着化と基盤づくり」

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

1. 高齢者社会にあつて、これまで家庭の問題だった介護の仕事が、社会の仕組みとなり、等級化・専門職化してきたが、まだ数は少なく生活機能は不十分。
 2. 施設の暮らしは地域との交流も少なく、ましてやクオリティの高い文化・芸術、学びの場は少なく、無気力・無感動な日常を送っている。
 3. 高齢者の尊厳を第一に考えるべきだが、心の通った文化性のあるアクティビティの提供は少ない。(効率化第一で、画一的暮らしの提供が多く見られる)
- 以上の現況と体験を踏まえ、<本物の感動が元気な高齢者に欠かせない>との認識に立ち、プロジェクトを構築、その実践・定着化と、拡大を図る。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

福祉施設でオペラコンサートを開催した。

国立音楽大学客員教授(演出家)の中村敬一先生に協力頂き、親しみやすいオペラを制作し、楽しい音楽劇を提供した。

過去2回の実績を元に、より親しみやすく、施設高齢者の参加型を考え、よりバージョンアップした作品を提供した。

<実施施設>	特別養護老人ホーム「至誠キートス」	2014/11/15	演目:泣いた赤鬼
	同上	「敬愛ホーム」	2014/11/16 演目:電話
	上砂地域福祉サービスセンター	2015/01/20	演目:泣いた赤鬼
	特別養護老人ホーム「砂川園」	2015/002/07	演目:羊飼いと狼

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

市内全域の高齢者福祉施設に上演の希望を募り、本年は4施設に絞って実現した。

中村先生の全面的な協力を得て、内容をよりバージョンアップし、オペラと生の音楽演奏をパッケージ化したプログラムを、3パターン用意できた。

- <工夫事項>
- ①中村先生と当会員が全施設を事前訪問し、施設に合う、高齢者に分かりやすい舞台づくりを考えた
 - ②高齢者の参加シーンを設定し、事前練習をする事で交流を深め、本番参加の期待感を醸成した。
 - ③出演者との交流の場を設け、より親しみを感じてもらおうよう企画した。
 - ④チラシやプログラムは当会で準備し、広報活動等をも担い、施設の負担を軽減した。
 - ⑤施設・入居者との交流の場を、多く設けて、それぞれのニーズを的確に捉えるよう工夫した。
(事前訪問、事前練習(稽古)、本番等)

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

①オペラというなかなか触れる事のない世界を、高齢者施設に届ける事が出来、良かった。②中村先生のご尽力で3パターンのプログラムができ、それぞれに参加するシーンを導入した事が、大変喜ばれた。③施設の高齢者のみならず、地域の方々からの賛同の声が多く、活動の励みになった。④出演した若い演者との交流はなによりほほえましく、高齢者にも、時代を担う若者にも、貴重な体験となったと確信できた。

施設の方々笑顔で、楽しいひと時が過ごせ <本物の感動が高齢者には欠かせない！>を、会のメンバー全員が痛感しました。もっと永く……もっと広く……が切なる願いです。

これらは今回のプロジェクトの補助のお陰です。ただ、この活動は継続と拡大が不可欠と確信しております。今後ともこの活動にご賛同頂き、配慮いただければ幸いです。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし